



sojitz

New way, New value

2010年3月期第2四半期決算について

Shine[★] 2011

2009年10月29日

双日株式会社

□ プレゼンテーション・サマリー

2010年3月期第2四半期決算(累計)の概要

- 収益は回復基調にあり、第2四半期で全ての利益段階で黒字化

➢ 第2四半期(累計)実績	経常利益	:	15億円(第1四半期 ▲51億円、第2四半期 66億円)
	当期純利益	:	200億円(第1四半期 ▲16億円、第2四半期 216億円)
➢ 中間配当	:	1株あたり2円50銭	

2010年3月期見直し修正

- 景気回復の遅れの影響を考慮し、通期見直しを修正するが、下期にかけて回復は持続

➢ 通期見直し	経常利益	:	450億円 ⇒ 220億円(下期 205億円)
	当期純利益	:	200億円 ⇒ 270億円(下期 70億円)
➢ 期末配当	:	1株あたり2円50銭(予定)	

Shine 2011の進捗

- 既存事業の基盤強化 : 回復傾向にあるが、そのスピードは自動車を中心に遅い
- 安定成長(資源確保) : エネルギー・金属資源の生産開始、但し本格的な増産は来期以降
食料、林産資源確保にも着手
- 中長期的収益基盤の構築 : 太陽光、排水リサイクル事業を始めとして、環境・新エネルギー分野で
着実に進捗

□ P/Lサマリー

(単位: 億円)

	08/9期 実績	09/9期 実績	前年同期比	10/3期 期初見通し	進捗率 (対期初見通し)	10/3期 修正見通し
売上高	29,051	18,864	▲10,187 (▲35%)	47,500	40%	40,200
売上総利益	1,437	851	▲586 (▲41%)	2,250	38%	1,950
営業利益	500	54	▲446 (▲89%)	560	10%	350
経常利益	555	15	▲540 (▲97%)	450	3%	220
当期純利益	359	200	▲159 (▲44%)	200	100%	270
基礎的収益力	609	24	▲585 (▲96%)	475	5%	265

□ B/Sサマリー

(単位:億円)

	09/9末	09/3末	増減額		09/9末	09/3末	増減額
流動資産	14,020	14,732	▲712	有利子負債	3,810	4,289	▲479
投資、 その他資産	8,633	8,398	+235	短期			
資産合計	22,653	23,130	▲477	長期	8,650	8,580	+70
リスクアセット (自己資本対比)	3,800 (1.0倍)	3,500 (1.1倍)	+300 (▲0.1倍)	その他負債	6,223	6,706	▲483
流動比率(%)	149%	142%	+7%	自己資本(※1) (純資産合計)	3,716 (3,970)	3,190 (3,555)	+526 (+415)
長期調達比率 (%)	69%	67%	+2%	負債・純資産合計	22,653	23,130	▲477
				自己資本比率 (%)	16.4%	13.8%	+2.6%
				ネット有利子負債	7,985	8,653	▲668
				ネットDER(倍) (ネットDER(倍) 純資産合計ベース)	2.2 (2.0)	2.7 (2.4)	▲0.5 (▲0.4)

(※1) 自己資本=純資産合計-少数株主持分

□ 商品、為替、金利の市況実績

	10/3期 期初前提	2009年 1月～6月実績	2009年 7月～9月実績	2009年 1月～9月実績
原油(Brent)(※1)	\$55/bbl(バレル)	\$52.8/bbl	\$68.9/bbl	\$58.3/bbl
石炭(一般炭)(※2)	\$70/t	\$67.7/t	\$71.2/t	\$69.0/t
モリブデン	\$13/lb(ポンド)	\$9.1/lb	\$14.7/lb	\$10.9/lb
バナジウム	\$5/lb(ポンド)	\$5.2/lb	\$6.7/lb	\$5.7/lb
為替(※3)	¥90/\$	¥96.0/\$	¥92.8/\$	¥94.9/\$
金利(TIBOR)(※4)	0.75%	0.60%(4～6月)	0.55%(7～9月)	0.57%(4～9月)

※1 原油・ガスの収益感応度 \$1/bbl変動すると、経常利益で約2億円の影響

※2 石炭は基本的に年間契約であり、SPOT価格の影響は受けない。また上記市況実績は当社の販売価格とは異なる

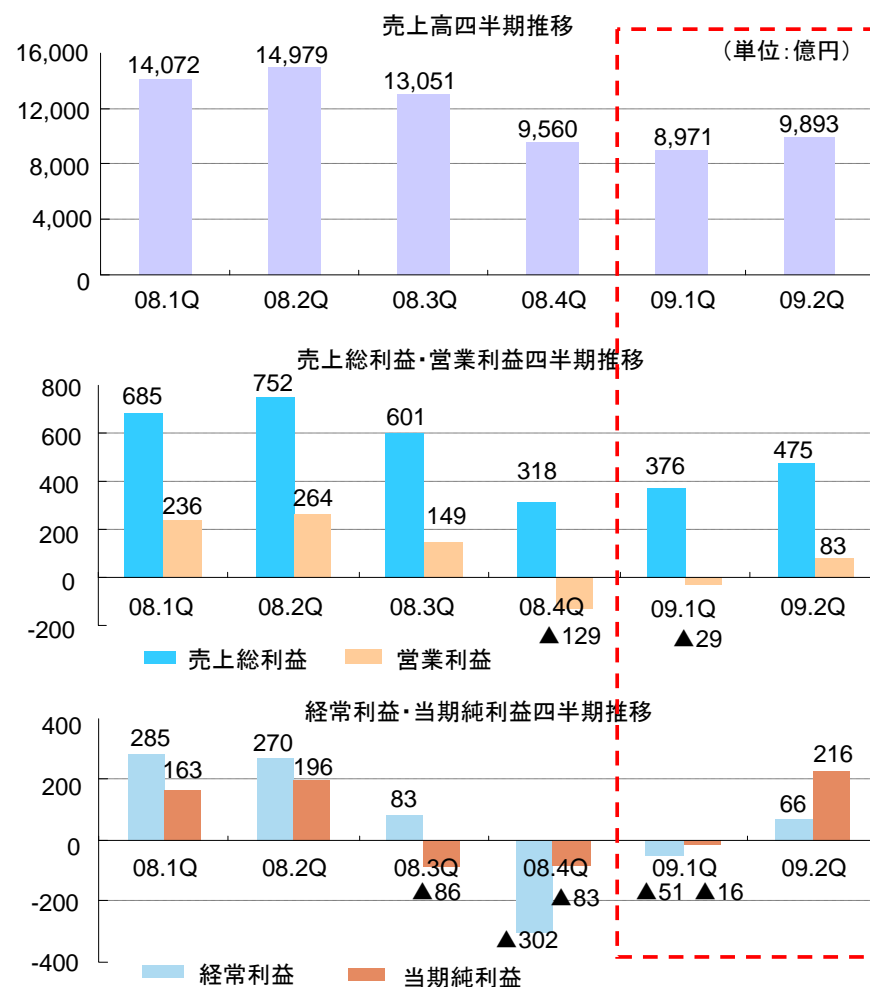
※3 為替(米ドルのみ)の収益感応度 ¥1/\$変動すると、売上高で100億円程度、経常利益で3～4億円程度、自己資本で15億円程度の影響

※4 金利の収益感応度 1%変動すると、年間10～15億円程度の影響

□ 2009年9月期概要と四半期推移

2008年度第4四半期をボトムに、全ての利益段階で黒字化

	(単位:億円)	
	09年度 上期実績	10/3期 修正見通し
売上高	18,864	40,200
売上総利益	851	1,950
営業利益	54	350
経常利益	15	220
当期純利益	200	270

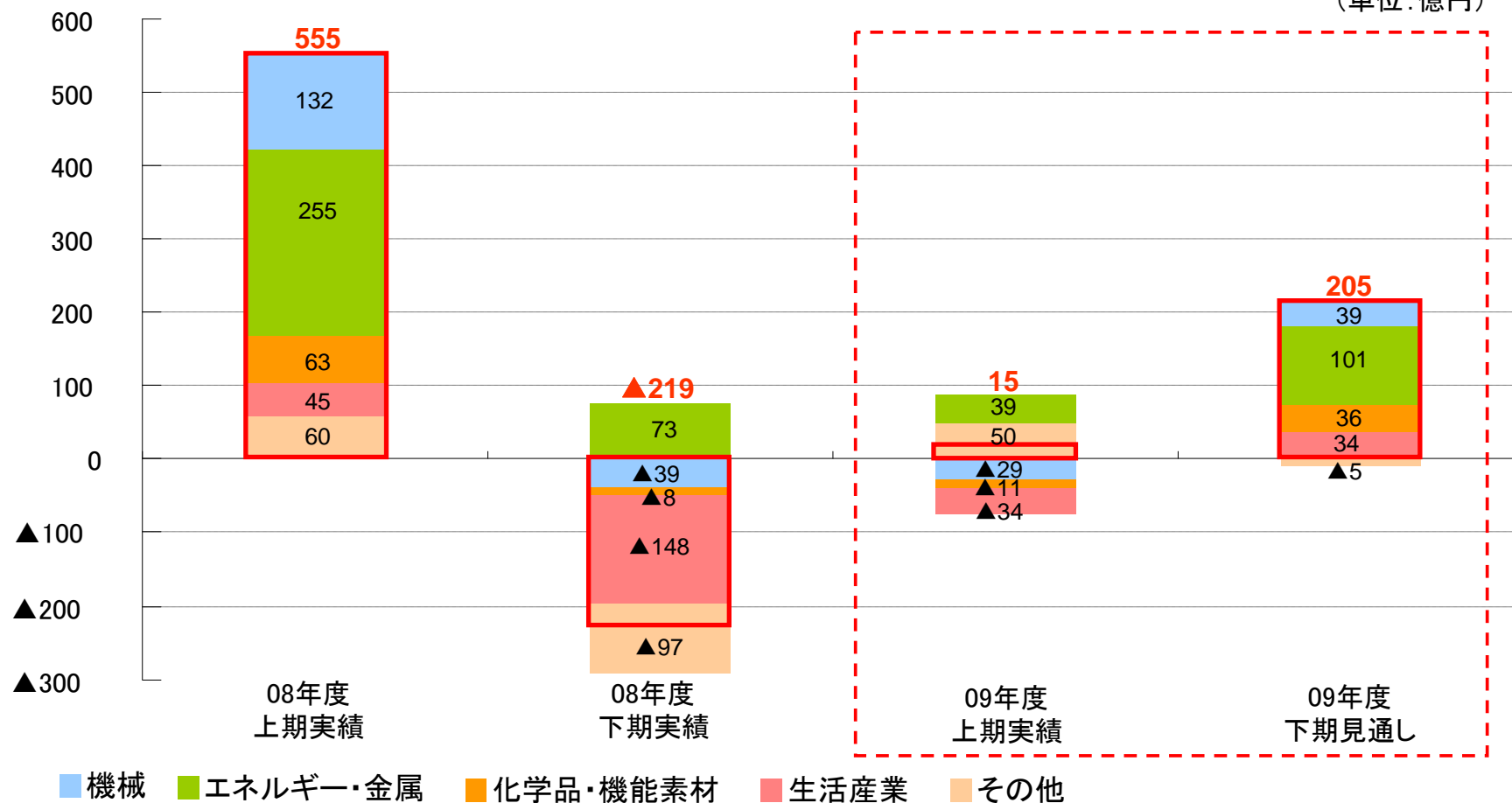


□ 部門別経常利益推移

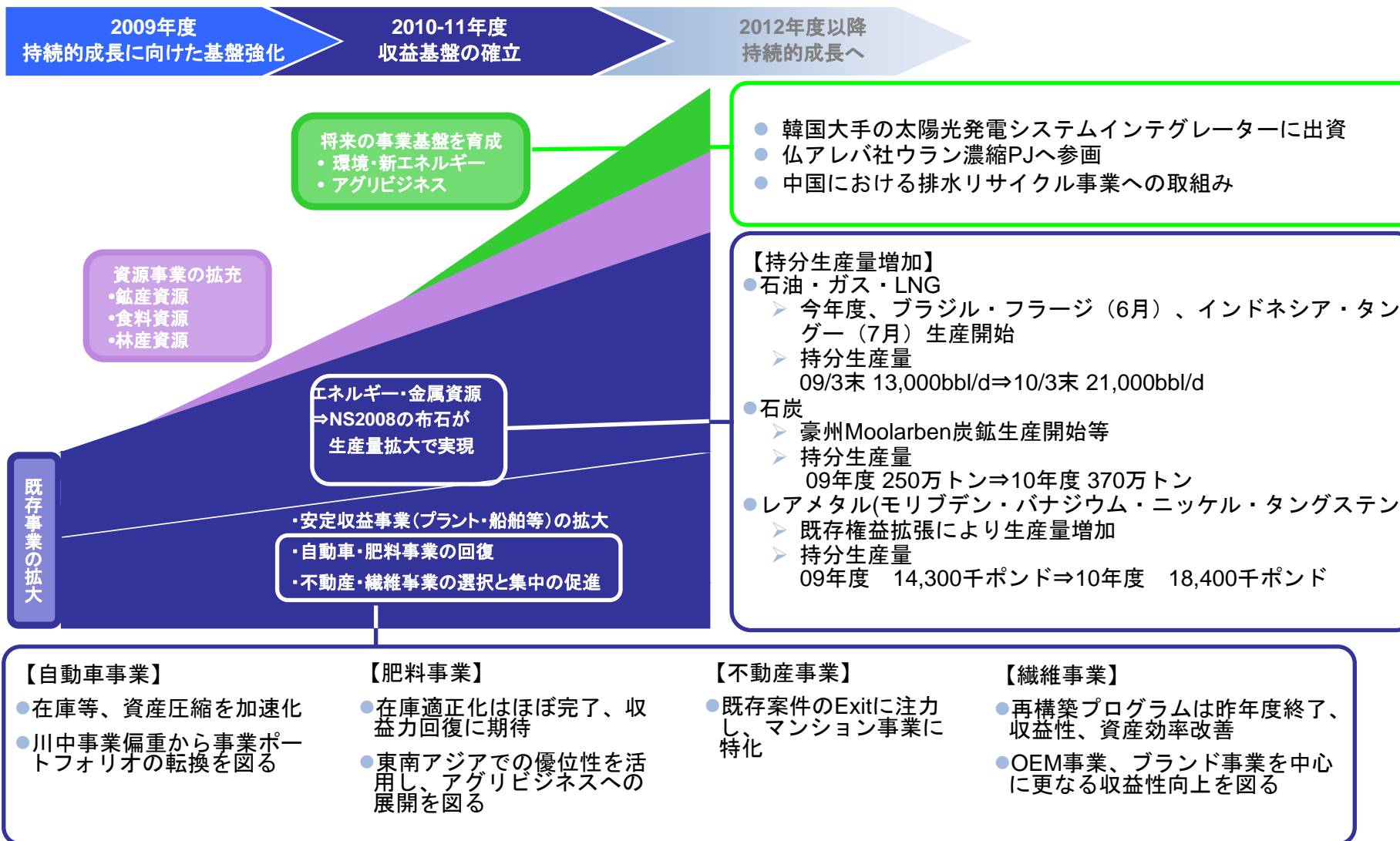
下期は回復傾向が鮮明となり、全営業部門で経常黒字の見込み

部門別経常利益半期推移

(単位:億円)

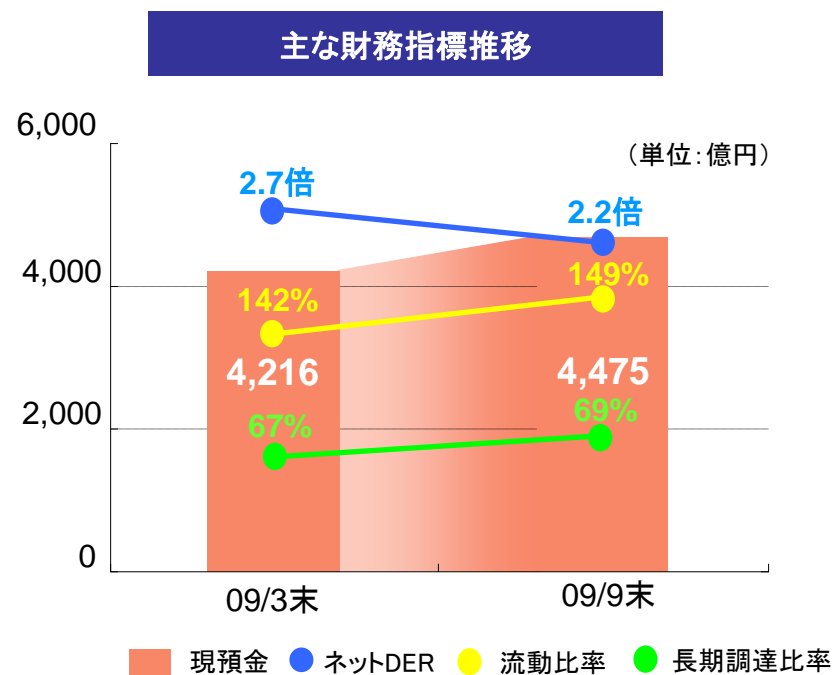
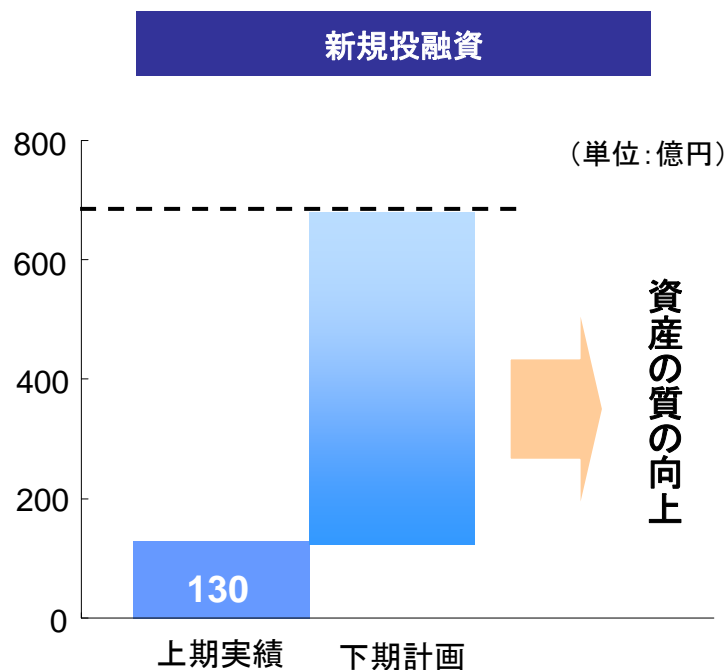


□ Shine 2011の進捗



□ 新規投融資

資産の入替えを基本とし、今期700億円を計画

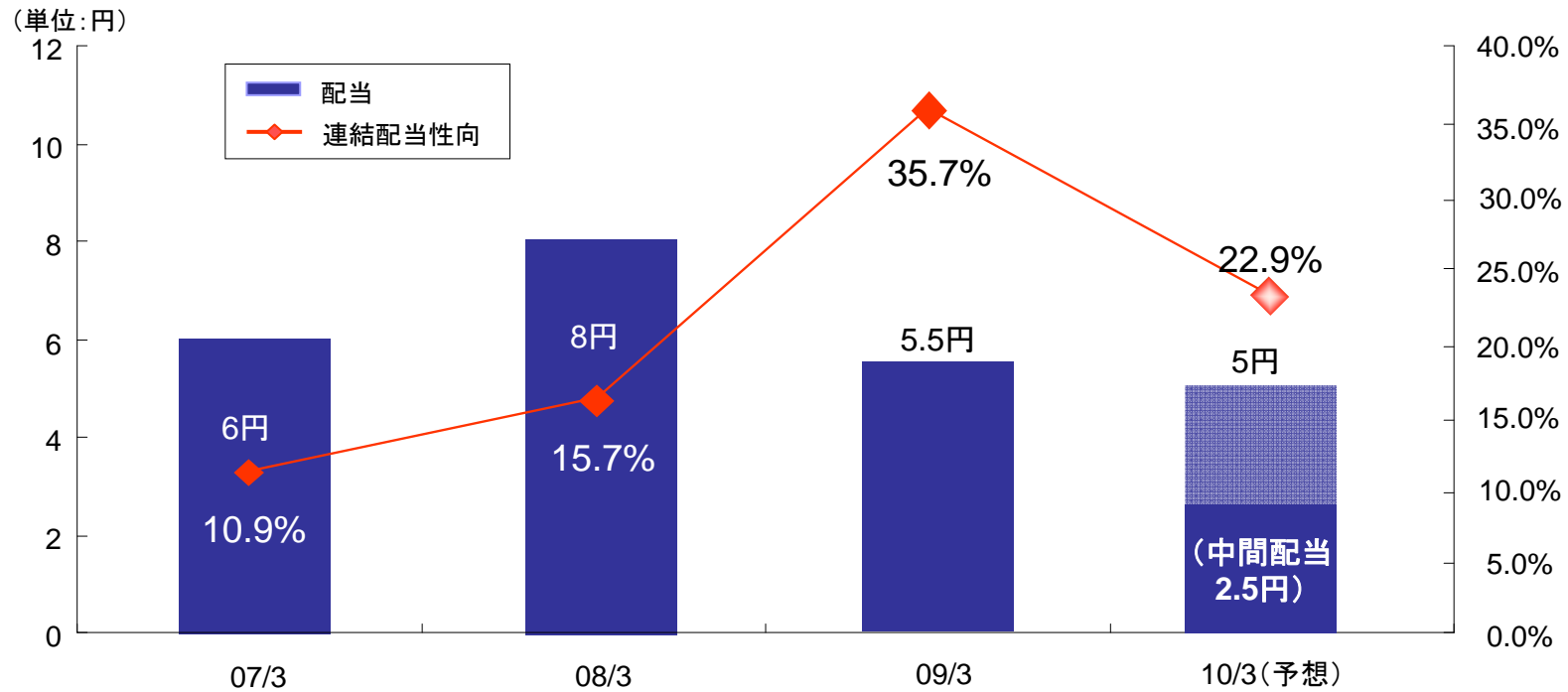


- 上期は既存資源権益を中心に新規投融資実行
- 入替は順調に進捗 (上期回収実績: 360億円)

- 財務基盤の健全性を維持し、新規投融資を実行

□ 利益配当金

1株当たり年間配当金・連結配当性向推移



(注) 連結配当性向につきましては期末発行済普通株式数にて算定しております

配当に関する基本方針

安定的かつ継続的に配当を行うとともに、内部留保の拡充と有効活用によって企業競争力と株主価値を向上させることを経営の重要課題のひとつと位置付け

■ 【補足資料①】 決算実績サマリー

□ P/L推移

(単位:億円)

	07/3期 実績	08/3期 実績	09/3期 実績	09/9期 実績	10/3期 修正見通し
売上高	52,182	57,710	51,662	18,864	40,200
売上総利益	2,545	2,777	2,356	851	1,950
営業利益	779	924	520	54	350
経常利益	895	1,015	336	15	220
当期純利益	588	627	190	200	270
基礎的収益力	898	1,107	483	24	265
(ご参考)					
ROA	2.3%	2.4%	0.8%	-	1.2%
ROE	12.8%	13.0%	4.8%	-	8.0%

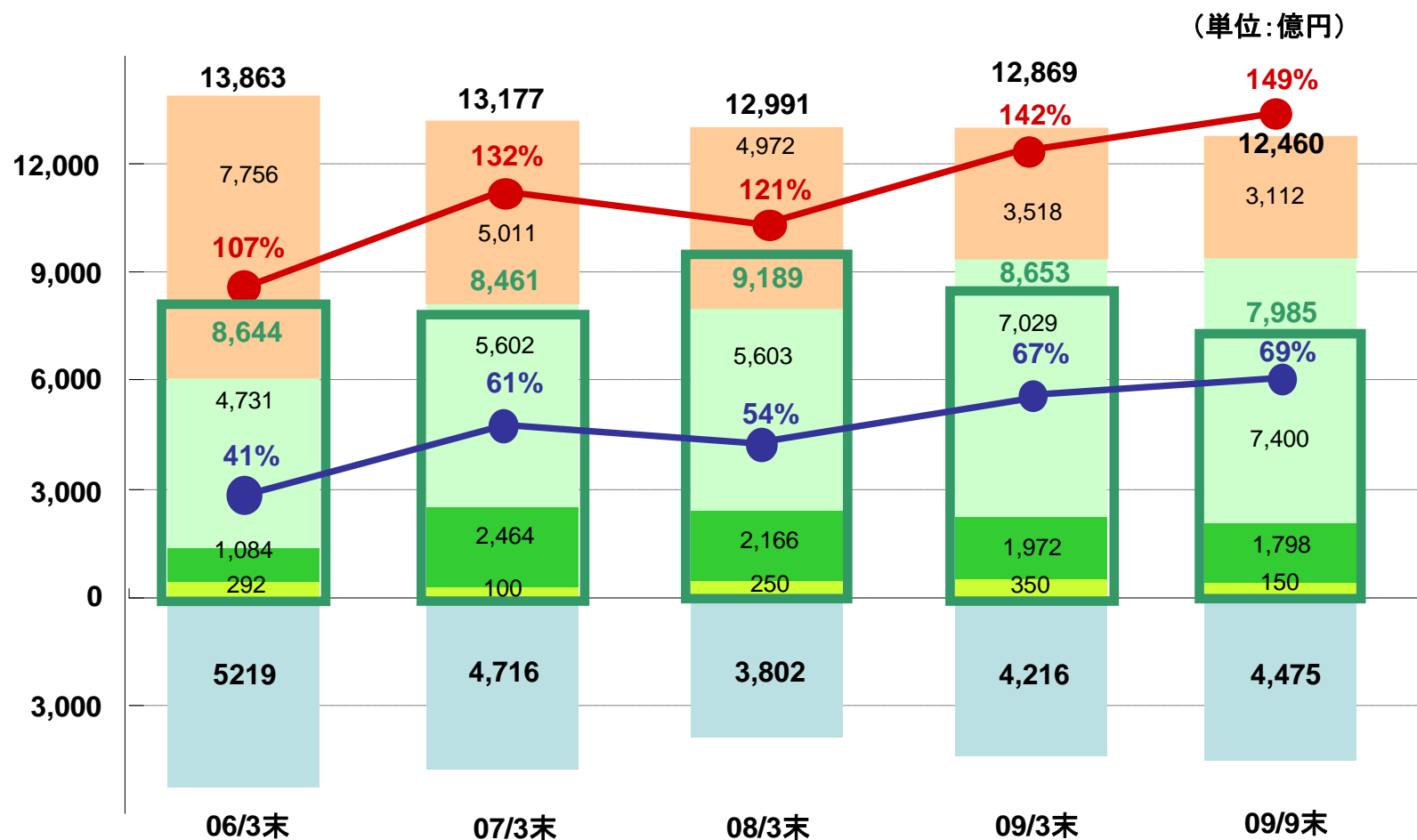
□ B/S推移

(単位:億円)

	07/3末	08/3末	09/3末	09/9末		07/3末	08/3末	09/3末	09/9末	
流動資産	16,151	16,760	14,732	14,020	有利子負債	短期	5,120	5,973	4,289	3,810
						長期	8,057	7,018	8,580	8,650
投資、 その他資産	10,044	9,934	8,398	8,633	その他負債		7,702	8,500	6,706	6,223
					自己資本(※1) (純資産合計)		4,886 (5,316)	4,760 (5,203)	3,190 (3,555)	3,716 (3,970)
資産合計	26,195	26,694	23,130	22,653	負債・純資産合計	26,195	26,694	23,130	22,653	
リスクアセット (自己資本対比)	3,600 (0.7倍)	3,800 (0.8倍)	3,500 (1.1倍)	3,800 (1.0倍)	自己資本比率 (%)	18.7%	17.8%	13.8%	16.4%	
流動比率(%)	132%	121%	142%	149%	ネット有利子負債	8,461	9,189	8,653	7,985	
長期調達比率 (%)	61%	54%	67%	69%	ネットDER(倍) (ネットDER(倍) 純資産合計ベース)	1.7 (1.6)	1.9 (1.8)	2.7 (2.4)	2.2 (2.0)	

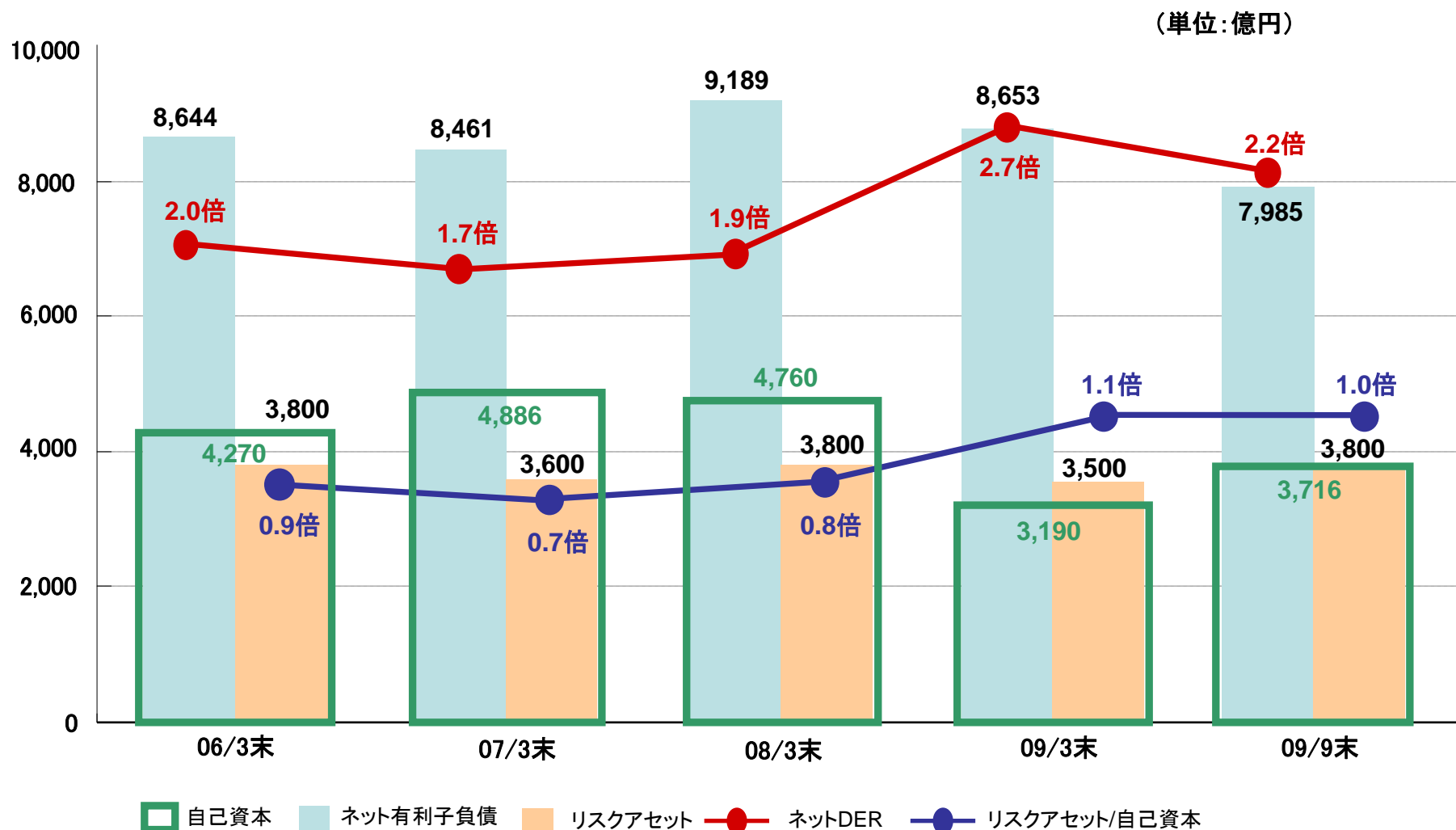
(※1) 自己資本=純資産合計-少数株主持分

□ 有利子負債推移



■ 短期借入金 ■ 長期借入金 ■ 社債 ■ CP ■ 現預金
■ ネット有利子負債 ● 流動比率 ● 長期調達比率

□ ネット有利子負債/リスクアセット推移



■ 【補足資料②】 事業セグメント別見通し

□ 機械セグメント

(単位:億円)

	09/9期 実績	10/3期 期初見通し	進捗率	売上総利益 足元の状況と見通し	10/3期 修正見通し
売上総利益	284	765	37%		670
自動車	91	290	31%	<ul style="list-style-type: none"> アジア・中東の自動車市場は回復基調にあるが、ベネズエラの操業停止、ロシアの市場低迷の影響により下振れ。 	220
プラント・ 情報産業	118	320	37%	<ul style="list-style-type: none"> 下期回復を見込むが一部産業機械の取引減少の影響を受けている。 	300
船舶・ 宇宙航空	75	155	48%	<ul style="list-style-type: none"> 堅調に推移し、概ね見通し通り。 	150
経常利益	▲29	130	—		10

□ エネルギー・金属セグメント

(単位: 億円)

	09/9期 実績	10/3期 期初見通し	進捗率	売上総利益 足元の状況と見通し	10/3期 修正見通し
売上総利益	173	440	39%		385
エネルギー・ 原子力	76	195	39%	<ul style="list-style-type: none"> 足元の原油価格は期初見通しを上回って推移しているが、ガス価格の低迷、上期の取扱高減少により下振れ。 	160
金属資源	90	215	42%	<ul style="list-style-type: none"> 一部金属資源の上期取扱高減少の影響があるが、石炭の堅調な推移、金属資源市況も緩やかながら回復しており、概ね見通し通り。 	205
鉄鋼事業	7	30	23%	<ul style="list-style-type: none"> 鉄鋼市況は緩やかながら回復傾向にあるが上期の落ち込みの影響を受ける。 	20
経常利益	39	180	22%		140

□ 化学品・機能素材セグメント

(単位:億円)

	09/9期 実績	10/3期 期初見通し	進捗率	売上総利益 足元の状況と見通し	10/3期 修正見通し
売上総利益	141	375	38%		320
化学品	53	155	34%	<ul style="list-style-type: none"> • 上期の取扱高の減少、メタノール価格の低迷の影響を受けるが、中国市場の堅調な推移、メタノール価格の回復を見込む。 	130
機能素材	84	220	38%	<ul style="list-style-type: none"> • 上期の取扱高減少の影響を受けるが、中国市場を中心に需要の回復を見込む。 	190
経常利益	▲11	55	—		25

□ 生活産業セグメント

(単位:億円)

	09/9期 実績	10/3期 期初見通し	進捗率	売上総利益 足元の状況と見通し	10/3期 修正見通し
売上総利益	213	565	38%		495
食料資源	61	210	29%	<ul style="list-style-type: none"> • 上期の肥料事業の在庫調整、水産市況の低迷の影響を受けるが、肥料事業の在庫調整はほぼ目処が付き、下期に回復の見込み。 	170
物資・繊維	97	210	46%	<ul style="list-style-type: none"> • 堅調に推移し、概ね見通し通り。 	205
林産資源・不動産	56	145	39%	<ul style="list-style-type: none"> • 国内の住宅着工件数減少の影響による木材・建材関連の需要低迷の影響を見込む。 	120
経常利益	▲34	45	—		0



sojitz

New way, New value

将来の見通しに関する注意事項

資料に記載されている内容につきましては種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。